

令和5年版

# 消防年報

[第72号]

熱海市消防本部

## は し が き

この年報は、令和4年中の熱海市消防の主要な消防業務及び消防現勢を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の強化育成の資とするため編集しました。

なお、統計は原則として歴年をもってあらわし、予算に関する事項については、会計年度をもって作成してあります。

令和 5年 6月

熱海市消防本部



## 熱海市民憲章

わたくしたち熱海市民は、国際観光温泉文化都市の市民である誇りと自覚をもって、明るく豊かな美しいまちにするために、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたち熱海市民は、自然を愛し、きれいな美しい環境をつくりましょう。
- 2 わたくしたち熱海市民は、教養を高め文化のまちをつくりましょう。
- 3 わたくしたち熱海市民は、きまりを守り良い風習を育て、住みよいまちをつくりましょう。
- 4 わたくしたち熱海市民は、健康で働き、子供の幸せを願い、明るい豊かな家庭をつくりましょう。
- 5 わたくしたち熱海市民は、お互に助け合い、親切にし、観光客にはあたたかい心で接しましょう。

昭和52年4月10日制定

熱海市

# 熱海市歌

坪内道遥 作詞  
弘田龍太郎 作曲

軽快 = ♩ = 1 1 6

まふゆをしらぎるところはるあたみ  
まなつもすすしきあきのうみべに  
ちとせをわきわくくすすきいでゆ  
やめるもおこたりうれいもわする  
あ あこのーらーくどはわれらがすむまち

一、真冬を知らざる常春熱海

真夏も涼しき秋の海辺に

千歳を湧き湧くくすすきいで湯

病めるも怠り憂いも忘る

ああこの楽土は我らが住む町

二、貴賤をわかたず東西とわず

喜び迎えてともに楽しむ

進める文化になす業しげく

疲るゝ人々来ませやここへ

わがこの熱海は共有国宝

三、真冬を知らざる常春熱海

真夏も涼しき秋の海辺の

くすすきいで湯は世界に知られ

万里の涯より千客いたる

わがこの熱海は世界の公園

# 目 次

熱海市勢	1
------	---

熱海消防のあゆみ	2
----------	---

## 組 織 お よ び 人 事

消防の組織・機構	8
----------	---

消防本部事務分掌	9
----------	---

消防署所庁舎・消防団詰所等一覧表	11
------------------	----

消防力配備図	12
--------	----

消防費予算	13
-------	----

職員の配置・年齢構成	14
------------	----

消防職員の教育・研修受講状況	15
----------------	----

## 消 防 施 設 お よ び 機 械 等

消防機械配備状況（車両）	16
--------------	----

消防機械配備状況（可搬式動力ポンプ）	17
--------------------	----

消防機械配備状況（発電機）	18
---------------	----

救助資機材の現況	19
----------	----

消防通信施設の現況	20
-----------	----

消防通信系統図	21
---------	----

消防水利の現況	22
---------	----

気象情報	23
------	----

警防活動状況	24
--------	----

## 火 災 統 計

火災発生状況	25
--------	----

令和4年 火災発生状況と前年比較 地域別・月別火災発生状況	26
-------------------------------	----

原因別火災件数、過去10年間の火災件数・死傷者・損害額推移	27
-------------------------------	----

過去10年間の火災発生状況 宿泊施設火災の推移	28
-------------------------	----

## 救 急 ・ 救 助 統 計

救急発生状況	29
救急概要	30
傷病程度・年齢・覚知別出場状況	31
曜日・時刻別出場状況	32
地域別出場件数、住居別搬送人員	33
発生場所別搬送状況	34
診療科目別搬送状況、医療機関別搬送状況	35
応急処置状況	36
過去 10 年間の救急状況	37
令和 4 年度救命講習実施状況	38
過去 10 年間の救助隊活動状況、救助概要	39
PA 連携活動状況	40
ドクターヘリ出場状況	41

## 予 防

建築同意状況（1）、（2）	42
消防用設備等検査実施状況、火災予防条例に基づく諸届出状況	43
危険物関係事務処理状況、危険物製造所等分布状況	44
危険物製造所等立入検査状況、予防一般事務処理状況	45
防火対象物（事業所別）分布状況	46
中高層建築物一覧表、中高層建築物地域別分布状況	47

## 消 防 団

消防団主要行事及び出動状況	48
消防団員数調、消防団員の配置状況、分団管轄区域	49
消防団員（職業・年齢・在職年数）	50

# 熱 海 市 勢

面 位	積 置	面 積 東 南 東 北	西 北 経 緯	61.77 km <sup>2</sup> 7,520m 13,900m 139°01' 35°09'
		市 街 地		13.29 km <sup>2</sup>
		準 市 街 地		4.90 km <sup>2</sup>
		そ の 他 の 地 域		43.59 km <sup>2</sup>
用 途 地 域		商 業 地 域		0.84 km <sup>2</sup>
		近 隣 商 業 地 域		0.77 km <sup>2</sup>
		住 居 地 域		1.91 km <sup>2</sup>
		住 居 専 用 地 域		8.49 km <sup>2</sup>
		指 定 な し		49.77 km <sup>2</sup>
風 致 地 区		第 1 種 地 区		39.51 km <sup>2</sup>
		第 2 種 地 区		12.20 km <sup>2</sup>
		指 定 な し		10.07 km <sup>2</sup>
防 火 地 域		防 火 地 域		0.21 km <sup>2</sup>
		準 防 火 地 域		1.51 km <sup>2</sup>
		そ の 他		60.06 km <sup>2</sup>
宅 造 法 規 制 区 域		規 制 区 域		43.18 km <sup>2</sup>
		区 域 外		18.60 km <sup>2</sup>
人 口  (令和5年3月末調)		男 女 計	15,550人 18,751人 34,301人	人口密度 555.3人/km <sup>2</sup>
世 帯 数  (令和5年4月1日調)			20,927世帯	1.6人/世帯

## 熱海消防のあゆみ

明治維新前			壮丁者をもって「は組1番」「ろ組2番組」「わ組8番組」の3組にて若者組を組織した。
明治10. 10.	1		各組に竜吐水ポンプを配備した。
明治27. 6.	6		熱海町消防組を設立し、「熱海部」「伊豆山部」の2部を置き、腕用ポンプ2台を配備した。
明治42. 12.	23		熱海町に初めて水道を布設し、消火栓を33ヶ所設置した。
大正 8. 8.	22		熱海町消防組を5部に増設、部員定数を313名に増員し、腕用ポンプ3台を購入、各部にそれぞれ配備した。
大正12. 9.	1		関東大震災、熱海町は死者68人行方不明31人、重軽傷者99人、家屋倒壊及び流失568戸。網代町は、死者4人、負傷者10人、家屋倒壊が多数あった。
昭和 3. 1.	7		ドイツ製ローゼンバー式22馬力手引動力ポンプを購入するとともに消火栓を37ヶ所増設した。
昭和 5. 11.	26		北伊豆地震、熱海町は死者3人、負傷者3人、家屋全壊28戸、半壊58戸。網代町は家屋半壊8戸、防火用水タンク2基破損した。
昭和 9. 8.	20		1931年型フォード24馬力小型消防ポンプ自動車を配備した。
昭和12. 8.	28		市制施行にともない、田方郡熱海町消防組と田方郡多賀村消防組を合併し、熱海消防組改称、9部制とした。
昭和14. 4.	1		熱海市警防団と改称し、泉地区に消防部を設けた。
昭和14. 9.	1		熱海市警防団に常備消防部を設け、各部器具置場に機関員を常置し、1939年型ダッジ30馬力消防ポンプ自動車を配備した。
昭和19. 3.	6		本町大火、罹災戸数38戸、焼失面積24,961㎡、損害8,313,479円
昭和19. 4.	1		警防団本部に常設消防部を設け、本部員12名で2交代制勤務を採用した。
昭和22. 11.	1		熱海市消防団と改称し、9ヶ分団、常設部、団員定数500名とした。
昭和23. 11.	13		消防組織法の公布により、熱海市消防本部並びに消防署を設置し、定員27名、消防ポンプ自動車3台にて発足した。
昭和25. 4.	3		駅前大火、重軽傷者99人、罹災棟数 全焼81棟、半焼5棟、焼失面積約7,280㎡、罹災世帯98世帯、罹災人員431人損害額200,000,000円
昭和25. 4.	13		熱海大火、重軽傷者979人、罹災棟数979棟、焼失面積約141,900㎡、罹災世帯1,461世帯、罹災人員5,808人、損害額5,467,169,000円、延焼時間6時間45分、出火原因はマッチ使用後の不始末
昭和26. 4.	1		消防職員の定数を42名、消防団員の定数を360名とした。
昭和27. 1.	1		消防署熱海駅前出張所を設置し、職員8名、タンク車1台を配備した。



- 昭和32. 4. 1 田方郡網代町との合併に伴い、熱海市消防署網代出張所を設置し、職員2名（機関員のみ）を配置するとともに、消防団を11ヶ分団とし、団員定数を470名とした。
- 昭和32. 7. 9 消防職員の定数を45名とした。
- 昭和33. 8. 21 市役所庁舎の再建に伴い、庁舎内の一部に新消防庁舎を設置する。（1階消防署、2階消防本部、延べ1,254㎡）
- 昭和33. 9. 26 狩野川台風、死者4名、行方不明1名、重軽傷者6名、全壊家屋16戸、半壊家屋37戸、流失家屋4戸、床上浸水62戸、床下浸水235戸、損害額365,967,000円
- 昭和34. 4. 1 消防職員の定数を60名とした。
- 昭和35. 12. 1 消防署網代出張所の職員を増員し、6名とした。
- 昭和37. 2. 11 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 昭和37. 3. 9 消防無線を開局した。
- 昭和40. 4. 1 消防職員の定数を80名とした。
- 昭和40. 9. 1 救急業務を開始し、専従員6名とした。
- 昭和40. 12. 3 熱海市危険物安全協会を設立した。
- 昭和41. 1. 1 静岡県消防協会長より表彰旗を授与される。
- 昭和41. 12. 10 消防団の組織等を整備するとともに、4方面隊制とした。
- 昭和41. 12. 24 消防署網代出張所を、下多賀小山に移設し、消防署南熱海出張所と改称し、職員を13名とした。
- 昭和42. 7. 1 消防署熱海駅前出張所の職員を増員し、11名とした。
- 昭和42. 7. 1 高層建築物等特殊災害に対処するため消防特別救助隊を発足した。
- 昭和43. 2. 1 市民の防火思想高揚のため、毎夜9時を「消防の時間」と定めた。
- 昭和44. 3. 4 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
- 昭和44. 4. 1 消防職員の定数を85名とした。
- 昭和44. 5. 1 泉地区に、消防署泉分遣所を新設し、職員を6名配置した。
- 昭和45. 2. 3 つるやホテル火災、軽傷2名、焼失面積2,450.7㎡損害見積額324,000,000円、  
原因 放火
- 昭和45. 3. 29 消防署熱海駅前出張所を新築移転した。
- 昭和45. 4. 1 消防職員の定数を90名とした。
- 昭和46. 3. 1 市民の防火思想高揚のため、毎月1日を「防火デー」と定めた。
- 昭和46. 4. 1 熱海市旅館・ホテル等防火対策協議会連合会を設立した。
- 昭和46. 7. 20 消防職員の定数を100名とした。
- 昭和46. 11. 12 伊豆箱根林野火災防止対策協議会を設立した。
- 昭和46. 11. 15 30m級はしご付消防ポンプ自動車を購入、配備した。
- 昭和46. 11. 17 熱海市防火管理者協議会を設立した。

- 昭和48. 1. 1 静岡県消防協会より竿頭綬を授与される。
- 昭和48. 8. 31 消防庁舎新築落成（RC造5階建、建築面積478.91㎡延面積1,827.581㎡）
- 昭和48. 8. 31 消防署通信指令室に一斉指令装置を設置した。（60回線）
- 昭和48. 12. 1 消防本部を課制とした。（管理課・予防課）
- 昭和49. 3. 1 消防庁長官より表彰旗を授与される。
- 昭和49. 3. 30 消防団第7分団詰所新築（RC2階建、延面積128㎡）
- 昭和49. 10. 31 消防団第3分団詰所新築（RC3階建、延面積141.9㎡）
- 昭和50. 3. 15 同報無線設備新設（通信所1局、送信所1局、受信局60局）
- 昭和50. 11. 22 消防団第2分団詰所新築（RC2階建、延面積600.40㎡）
- 昭和51. 3. 15 消防団第11分団詰所新築（RC3階建、延面積160.89㎡）
- 昭和52. 1. 31 消防団第8分団詰所新築（RC3階建、延面積195.309㎡）
- 昭和53. 3. 22 消防団第4分団詰所新築（RC3階建、延面積208.97㎡）
- 昭和54. 3. 28 消防団第6分団詰所新築（RC3階建、延面積229.57㎡）
- 昭和55. 1. 31 消防団第10分団詰所新築（RC3階建、延面積205.46㎡）
- 昭和55. 4. 2 無線局舎（消防無線、同報無線）の耐震化を図った。
- 昭和56. 1. 16 消防団第7分団詰所増築（3階部分53.76㎡）
- 昭和57. 3. 22 消防団第9分団詰所新築（RC2階建、延面積110.48㎡）
- 昭和57. 8. 1 消防署南熱海出張所増築（59.77㎡）し、救急車を配備した。
- 昭和58. 5. 2 消防団第1分団詰所新築（RC2階建、延面積225.11㎡）
- 昭和58. 12. 21 空中放水車更新配備した。
- 昭和59. 3. 28 空気充填装置を新設した。
- 昭和59. 10. 26 天理教愛町文教会よりトレーニングマシンを寄贈される。
- 昭和61. 11. 15 消防署泉分遣所、消防団第5分団詰所新築（RC造4階建の内1階及び2階部分の一部延べ面積137.65㎡）
- 昭和62. 12. 13 消防署西部出張所新築開所（RC造・面積129.27㎡）した。
- 昭和62. 12. 13 消防署の機構を3係（第1・第2）に改革した。
- 昭和63. 7. 5 消防庁長官より熱海市旅館ホテル等防火対策協議会連合会が安全功労者表彰を授与される。
- 平成 元 2. 10 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
- 平成 2. 2. 26 消防緊急情報システムを設置した。
- 平成 2. 7. 1 消防庁長官より熱海市防火管理者協議会が安全功労者表彰を授与される。
- 平成 2. 11. 7 兼松通商株式会社より35m梯子付消防自動車を寄贈される。
- 平成 4. 3. 13 熱海市消防署特別救助隊訓練塔を新設した。（鉄骨4階建、延面積66.40㎡）
- 平成 4. 4. 1 防災行政を消防本部に所管替えし、管理課に地震防災係を新設した。

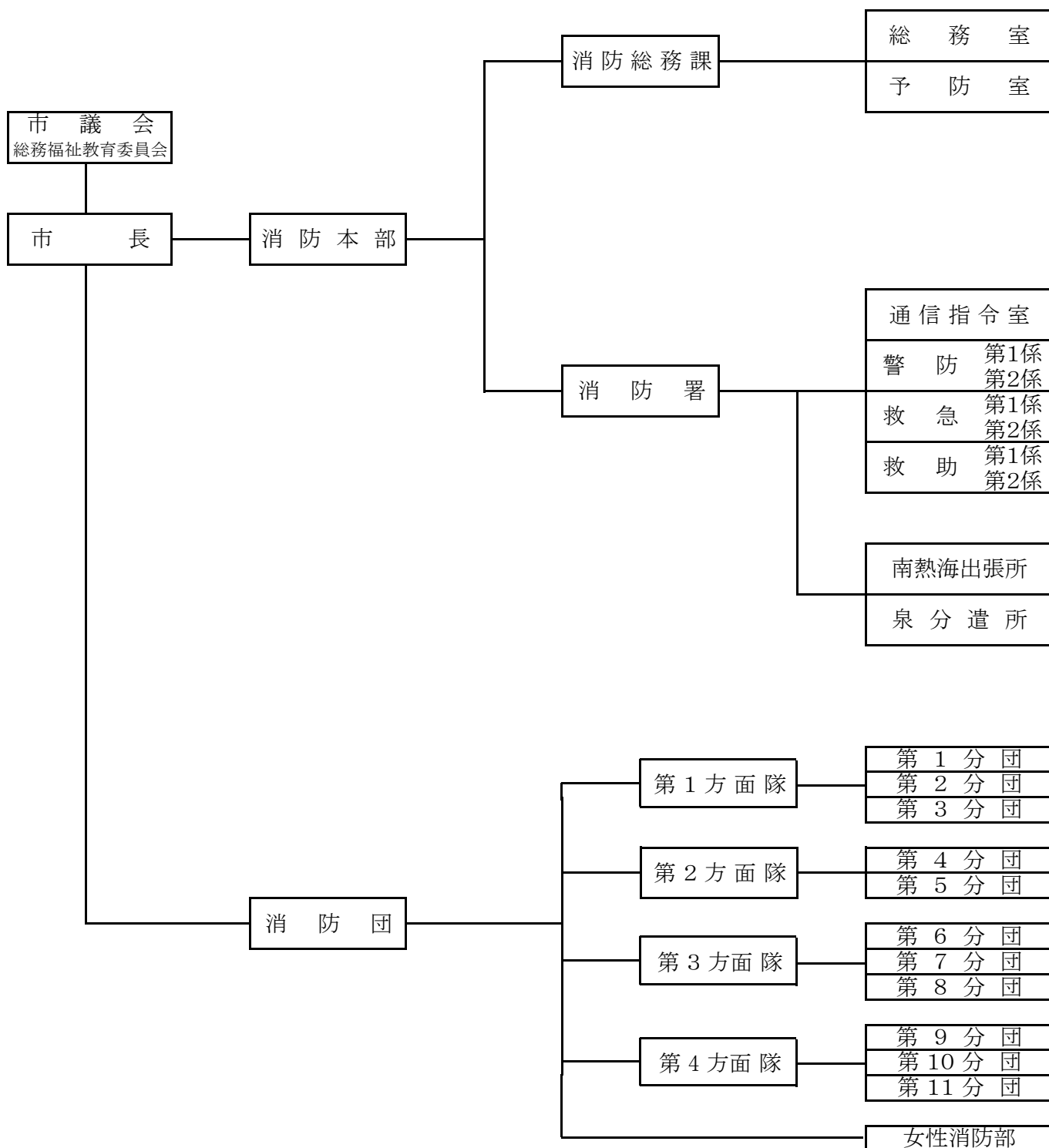
- 平成 5. 1. 15 消防署熱海駅前出張所に救急車を配備した。
- 平成 5. 4. 1 泉地区の救急業務を湯河原町へ事務委託した。
- 平成 6. 1. 23 消防団第7分団詰所新築（RC造2階建、延面積155.88㎡）
- 平成 6. 4. 1 消防職員の定数を107名とした。
- 平成 6. 7. 4 熱海市消防団旗（第2代）を更新した。
- 平成 6. 10. 21 消防団員の定数を500名とした。
- 平成 7. 1. 1 熱海市消防団女性消防部を発足した。（定数30名）
- 平成 8. 3. 29 通信バックアップシステム（防災行政無線・消防無線）を保健センターに設置した。
- 平成 8. 10. 18 消防署に高規格救急車（第1号車）を配備した。
- 平成 9. 4. 1 防災行政を市長部局（防災室）へ所管替えした。
- 平成 9. 4. 13 消防団発足50周年記念大会を開催した。
- 平成10. 7. 28 消防署に二輪車「レッドアタッカー」を配備した。
- 平成10. 12. 16 消防署の空中放水車を廃車し、梯子付消防ポンプ自動車（15m級）を更新配備した。
- 平成12. 3. 23 消防無線 全国波を整備した。
- 平成12. 4. 13 熱海市危険物安全協会、熱海市旅館・ホテル等防火対策協議会連合会、熱海市防火管理者協議会の防火協力3団体を統合し、熱海市防火協会を設立した。
- 平成13. 3. 30 基地局と中継局間の消防無線市波（地方波）を無線化とする。中継局を整備した。
- 平成13. 4. 1 消防組織の機構改革に伴い消防署西部出張所を廃止し、本署へ統合した。
- 平成13. 4. 1 消防署通信指令室を消防本部管理課通信指令室に所管替えした。
- 平成14. 2. 7 平成13年度（財）日本消防協会 共済還元事業により指揮広報車の交付決定を受ける。
- 平成14. 2. 28 消防署南熱海出張所に指揮広報車を配備した。
- 平成14. 2. 28 消防署南熱海出張所に高規格救急車（第2号車）を配備した。
- 平成15. 9. 30 消防署熱海駅前出張所に高規格救急車（第3号車）を配備した。
- 平成16. 12. 10 消防署に救助工作車Ⅱ型（緊急消防援助隊登録）を更新配備した。
- 平成18. 4. 1 消防組織の機構改革に伴い消防署熱海駅前出張所を廃止し、本署へ統合した。
- 平成18. 4. 1 消防職員の定数を95名とした。
- 平成18. 10. 1 消防署南熱海出張所に消火泡圧縮吐出装置付消防ポンプ自動車（3号車）を配備した。
- 平成18. 12. 1 消防署南熱海出張所に配備した消火泡圧縮吐出装置付消防ポンプ自動車を本署へ配備替えした。
- 平成19. 4. 1 消防団員の定数を450名とした。
- 平成20. 4. 1 機構改革に伴い管理課、予防課を統合し、消防総務課（総務室、予防室、通信指令室）とした。
- 平成22. 6. 18 消防署に高規格救急車1号車を更新配備した。

- 平成24. 3. 5 消防署に消火泡圧縮吐出装置付消防ポンプ自動車（1号車）を配備した。  
それに伴い、消防署の消火泡圧縮吐出装置付消防ポンプ自動車を消防署南熱海出張所へ  
配備替えした。
- 平成24. 11. 15 消防署南熱海出張所に高規格救急車（JA寄贈事業）3号車を更新配備した。
- 平成25. 4. 1 機構改革に伴い、消防総務課通信指令室を消防署通信指令室に所管替えした。
- 平成26. 3. 13 消防署に高規格救急車2号車（緊急消防援助隊登録）を更新配備した。
- 平成26. 4. 10 市役所第1庁舎・消防庁舎竣工式（鉄骨造4階建、延面積1,617㎡）
- 平成26. 4. 14 消防署に高機能消防指令システム（I型）を設置した。
- 平成26. 7. 10 日本赤十字社熱海地区交付金事業により、消防署に防災運搬車が寄贈された。
- 平成26. 12. 11 日本消防協会福祉共済事業により、防災活動車（SUV）フォレスターの交付決定を受け  
る。
- 平成27. 1. 16 南熱海地区（南熱海出張所）に総務省消防庁より無償貸与された、消防団救助資機材搭  
載型車両を配備した。
- 平成27. 3. 13 消防署に広報1号車を更新配備した。
- 平成27. 9. 9 消防救急デジタル無線システムを整備した。
- 平成28. 2. 15 消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車2号車（緊急消防援助隊登録）を更新配  
備した。
- 平成28. 10. 31 消防署南熱海出張所に指揮広報車（熱海市防火協会・熱海温泉ホテル旅館協同組合寄贈）  
を更新配備した。
- 平成29. 12. 7 日本消防協会福祉共済事業により、消防団第9分団に防災活動車が交付された。
- 平成30. 3. 7 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
- 平成30. 4. 1 機構改革に伴い、消防署通信指令室を消防総務課通信指令室に所管替えした。
- 平成30. 4. 1 熱海市消防団支援団員（熱海市版機能別団員）を設置した。
- 平成30. 4. 20 消防団第9分団詰所新築落成（供用開始）（RC2階建、延面積126.00㎡）
- 平成30. 4. 21 消防団第3分団詰所新築落成（供用開始）（RC2階建、延面積142.17㎡）
- 令和 元. 12. 14 消防署南熱海出張所供用開始
- 令和 2. 3. 2 消防署に高規格救急車1号車を配備し、既存車両を救急5号車（予備車）とした。
- 令和 2. 3. 27 南熱海支所・南熱海出張所竣工式（S造4階建、延面積358.165㎡）
- 令和 2. 3. 29 消防団第2分団詰所新築落成（供用開始）（S造2階、延面積177.34㎡）
- 令和 2. 12. 1 消防署に指揮車と救助工作車II型（緊急消防援助隊登録）を更新配備した。
- 令和 3. 7. 3 伊豆山土石流災害、死者28名（直接死27名、関連死1名）、重傷者1名、軽傷者3  
名、全壊家屋75棟、半壊家屋15棟、一部損壊家屋46棟、静岡県消防相互応援協定  
に基づく応援隊及び緊急消防援助隊の受援。
- 令和 4. 3. 2 消防庁長官より防災功労者表彰を授与される。

- 令和 4. 9. 1 内閣総理大臣より防災功労者内閣総理大臣表彰を授与される。
- 令和 5. 4. 1 機構改革に伴い、消防総務課通信指令室を消防署通信指令室に所管替えした。

# 組織および人事

# 消 防 の 組 織 ・ 機 構



# 消防本部事務分掌

## 消防総務課

### 総務室

- (1) 消防行政の基本的施策の企画及び調整に関する事。
- (2) 公印に関する事。
- (3) 文書の収受発送及び保存に関する事。
- (4) 消防吏員の人事及び福利厚生に関する事。
- (5) 消防吏員の予算及び決算の総括に関する事。
- (6) 消防職員の服務及び教養訓練に関する事。
- (7) 式典及び表彰に関する事。
- (8) 消防団に関する事。
- (9) 火災等の警戒、防ぎよ及び警防の計画並びに救急及び救助の計画に関する事。
- (10) 消防施設及び消防地水利に関する事。
- (11) 消防機械器具の配置、整備及び維持管理に関する事。
- (12) 消防統計及び消防情報に関する事。
- (13) 消防本部内の連絡調整に関する事。
- (14) その他課内他の室に属さない事。

### 予防室

- (1) 火災の予防及び防火思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察の企画及びその実施に関する事。
- (3) 火災の原因、損害調査及びり災証明に関する事。
- (4) 建築物についての同意及び指導に関する事。
- (5) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (6) 危険物製造所等の許可、承認及び検査に関する事。
- (7) 防火管理者に関する事。
- (8) 防火協力団体の指導及び育成に関する事。
- (9) 煙火の消費に関する事。
- (10) 高圧ガス等の指導に関する事。
- (11) その他予防事務に関する事。



# 消 防 署

## 通 信 指 令 室

- (1) 災害及び救急の受理並びに出動指令に関する事。
- (2) 消防通信の運用及び統制に関する事。
- (3) 災害情報の収集並びに伝達に関する事。
- (4) 気象観測及び気象情報に関する事。
- (5) 消防通信機器等の維持管理及び整備に関する事。
- (6) その他通信業務に関する事。

## 警 防 第1係・第2係

- (1) 文書に関する事。
- (2) 署員の勤務計画に関する事。
- (3) 署員の服務教養に関する事。
- (4) 火災予防に関する事。
- (5) 災害の調査に関する事。
- (6) 災害の警戒防ぎよに関する事。
- (7) 消防地水利に関する事。
- (8) 査察に関する事。
- (9) 各種消防訓練の立案及び指導に関する事。
- (10) 地震防災に関する事。
- (11) 消防機械器具及び防災資器材の点検整備に関する事。
- (12) その他消防署内他の室及び係に属さない事。

## 救 急 第1係・第2係

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急訓練の立案及び指導に関する事。
- (3) 救急資器材の点検整備に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) その他救急業務に関する事。

## 救 助 第1係・第2係

- (1) 救助活動に関する事。
- (2) 救助訓練の立案及び実施に関する事。
- (3) 救助資器材の点検整備に関する事。
- (4) 救助統計に関する事。
- (5) その他救助業務に関する事。

## 出 張 所 等

- (1) 災害の警戒防ぎよに関する事。
- (2) 救急業務に関する事。
- (3) 火災予防に関する事。
- (4) その他消防業務に関する事。

## 消防署所庁舎・消防団詰所等一覧表

区分	名称	所在地	構造延面積 (㎡)	建築年月日	備考	
常備消防	消防本部	中央町1-1	S造 1,617.0	H26. 3. 27	TEL81-2555・2988 82-1067	
	南熱海出張所	下多賀525-1	S造 358.16	R2. 3. 13	耐震構造 市役所(支所)一部使用 TEL68-2119	
	泉分遣所	泉79-30	RC造 225.0	S61. 11. 15	耐震構造 TEL0465-62-2119	
非常備消防	第1分団	咲見町3-17	RC造 225.11	S58. 9. 2	耐震構造 TEL83-3309	
	第2分団	福道町7-29	S造 177.34	R2. 3. 6	耐震構造 TEL83-2769	
	第3分団	昭和町13-20	S造 142.17	H30. 3. 30	耐震構造 TEL81-4669	
	第4分団	令和3年7月3日伊豆山土石流災害にて被災 現在、伊豆山地区コミュニティ防災センターを仮詰所として使用				
	第5分団	泉79-30	RC造 137.65	S61. 11. 15	耐震構造 TEL0465-62-2119	
	第6分団	上多賀741-1	RC造 229.57	S54. 3. 28	耐震補強 (H14. 12) TEL68-2955	
	第7分団	下多賀1374	RC造 155.88	H 6. 1. 23	耐震構造 TEL68-0112	
	第8分団	下多賀436-1	RC造 195.31	S52. 1. 31	耐震補強 (H12. 10) TEL68-2340	
	第9分団	初島6-1	S造 126.00	H30. 3. 26	耐震構造 TEL67-1416	
	第10分団	網代109-2	RC造 205.46	S55. 1. 31	耐震補強 (H13. 12) TEL68-3578	
	第11分団	網代455-9	RC造 160.89	S51. 3. 15	耐震補強 (H11. 3) TEL68-3905	




# 消防力配備図

(令和5年4月1日)



神奈川県 湯河原町

湯河原駅

泉


  
 泉分遣所  
 職員6人  

 5分団  
 団員35人  
 (管轄人口 2,250人)



伊豆山


  
 4分団  
 団員33人  
 (管轄人口 3,069人)

函南町



東海道新幹線



東海道本線


  
 1分団  
 団員29人  
 (管轄人口 2,702人)

来宮駅

消防総務課 17人  
 消防署本署 55人  
 消防団本部 29人  
 女性消防部 9人


  
 2分団  
 団員18人  
 (管轄人口 8,469人)



  
 3分団  
 団員30人  
 (管轄人口 7,028人)

-  消防本部
-  消防署
-  消防署出張所
-  消防団本部
-  消防団詰所
-  可搬式ポンプ
-  消防ポンプ自動車



伊豆スカイライン

伊豆線

伊豆多賀駅




  
 6分団  
 団員28人  
 (管轄人口 2,907人)



初島


  
 9分団  
 団員24人  
 (管轄人口 184人)

伊豆の国

上多賀








  
 7分団  
 団員25人  
 (管轄人口 3,377人)




  
 8分団  
 団員28人  
 (管轄人口 2,251人)

網代

南熱海出張所  
職員10人

下多賀


  

  

  
 10分団  
 団員40人  
 (管轄人口 450人)


  
 11分団  
 団員38人  
 (管轄人口 798人)

網代線

伊東市

# 消 防 費 予 算

令和5年度当初予算

1	市一般会計予算額	20,241,000千円
2	消防費予算額	869,679千円
	(1) 常備消防費	761,523千円
	(2) 非常備消防費	84,956千円
	(3) 消防施設建設費	23,200千円
3	市予算に対する消防費比率	4.3%

消防費予算（当初）の推移

区 分 年 度 別	市一般会計予算 千円	消防費予算額 千円	比 率 %
令和4年度	19,654,000	830,127	4.2
令和3年度	18,003,000	865,516	4.8
令和2年度	18,631,000	1,019,570	5.4
平成31年度（令和元年度）	19,843,000	940,999	4.7
平成30年度	21,150,000	815,170	3.8
平成29年度	18,585,000	819,547	4.4
平成28年度	18,088,000	726,983	4.0
平成27年度	17,666,000	764,814	4.3
平成26年度	18,381,000	1,012,275	5.5
平成25年度	19,612,000	846,334	4.3
平成24年度	17,543,000	729,149	4.3

# 職員の配置・年齢構成

令和5年4月1日

区分		階級							計
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	出向職員	
配 置	消防本部	1	4	3	3	1	5	1	18
	消防署		8	12	7	6	22		55
	南熱海出張所		1	5		2	2		10
	泉分遣所		1	2	1		2		6
	計	1	14	22	11	9	31	1	89
年 齢	20才未満						5		5
	20才～25才未満						12		12
	25才～30才未満					4	12		16
	30才～35才未満			1	7	5	2	1	16
	35才～40才未満			5	4				9
	40才～45才未満			9					9
	45才～50才未満		3	4					7
	50才以上	1	11	3					15
	平均年齢	59.0	52.9	43.5	34.0	29.3	23.7	34.0	35.5
勤 続 年 数	1年未満						3		3
	1年～2年未満						5		5
	2年～3年未満						4		4
	3年～4年未満						4		4
	4年～5年未満						1		1
	5年～10年未満					2	10		12
	10年～15年未満				8	7	4	1	20
	15年～20年未満			8	3				11
	20年～25年未満		1	10					11
	25年～30年未満		3	2					5
	30年以上	1	10	2					13
	平均勤続	36.0	30.9	21.4	11.0	10.5	4.7	11.0	17.9

## 消防職員の教育・研修受講状況（令和4年度及び過去5年間）

区 分	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	30年度	29年度	計
消防職員数(人)	90	88	89	89	89	87	—
教育受講者数(人)	14	19	14	23	24	22	—
消防大学校における教育受講者数(人)	1	1	0	1	3	2	8
総合教育	1	1			2	1	5
幹部科	1				1	1	3
新任消防長・学校長科		1			1		2
上級幹部科							0
専科教育				1	1		2
警防科					1		1
救急科							0
救助科							0
予防科				1			1
危険物科							0
火災調査科							0
新任教官科							0
現任教官科							0
その他実務講習等						1	1
消防学校における教育受講者数(人)	20	16	14	20	19	18	107
初任教育	5	4	5	2	2	7	25
専科教育	8	7	7	11	12	8	53
警防科	1			2		1	4
救助科	1	2	2	2	2	2	11
救急科	2	2	2	4	6	3	19
予防査察・危険物科	2	2	2	2	3	1	12
火災調査科	2	1	1	1	1	1	7
幹部教育	1	1	2	2	1		7
初級幹部科							0
中級幹部科	1	1	2	1	1		6
上級幹部科				1			1
特別教育	6	4	1	5	4	3	23
水難救助科							0
潜水士試験対策講習							0
女性消防吏員講習						1	1
ホットトレーニング講習	4						4
指令センター員講習	1	2	1	1	1		6
実践的大規模災害対応講習	1	2					3
ビデオ喉頭鏡講習				3	2	1	6
処置拡大追加講習				2	2	2	6
救急救命士養成における教育受講者(人)	0	2	0	2	2	2	8
救急救命士養成研修		2		2	1	1	6
指導救命士養成研修					1	1	2

# 消 防 施 設 お よ び 機 械 等

# 消 防 機 械 配 備 状 況 (車 両)

令和5年4月1日

	車 両 名	登録年	種 別	シャシ	規 格	ポンプ性能等	乗車定員
消 防 本 部 ・ 消 防 署	1 号 車	H24	水槽及び消火泡圧縮吐出装置付 消防ポンプ自動車(600ℓ)	日 野	CD-I	A2(刎タ)	6
	2 号 車	H28	災害対応特殊水槽付消防ポンプ 自動車(1,500ℓ)	〃	水IA型	〃	〃
	6 号 車	H14	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	CD-II	〃	10
	梯 子 車	H10	梯子(15m)付消防ポンプ自動車	いすゞ	15m級	〃	6
	救助工作車	R2	普 通 特 殊	日 野	II型		〃
	救急1号車	R2	〃	トヨタ	高規格		7
	救急2号車	H26	〃	〃	〃		〃
	救急5号車	H22	〃	〃	〃		〃
	指 揮 車	R2	S U V 車	〃			〃
	広報1号車	H27	ワ ゴ ン 車	〃			10
	広報2号車	H26	S U V 車	スバル			5
	防災運搬車	H26	ト ラ ッ ク	トヨタ			3
南 熱 海	3 号 車	H18	水槽及び消火泡圧縮吐出装置付 消防ポンプ自動車(600ℓ)	日 野	CD-I	A2(刎タ)	6
	7 号 車	H27	消 防 ポ ン プ 自 動 車	〃	〃	A2(日機)	〃
	救急3号車	H24	普 通 特 殊	トヨタ	高規格		7
	指揮広報車	H28	軽 自 動 車	ダイツ			4
泉	赤 バ イ	H11	原 動 機 付 自 転 車	ヤマハ			1
消 防 団	1 分 団 車	H30	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	CD-I	A2(刎タ)	10
	2 分 団 車	R2	〃	〃	〃	〃	8
	3 分 団 車	H27	〃	〃	〃	〃	〃
	4 分 団 車	R5	〃	日 野	〃	〃	10
	5 分 団 車	H24	〃	いすゞ	〃	〃	8
	6 分 団 車	H25	〃	〃	〃	〃	〃
	7 分 団 車	H21	〃	日 野	〃	〃	〃
	8 分 団 車	H26	〃	いすゞ	〃	〃	〃
	9 分 団 車	R3	〃	トヨタ	〃	〃	6
	防災活動車	H29	軽 自 動 車	ニッサン			4
	10 分 団 車	H22	〃	日 野	CD-I	A2(刎タ)	8
11 分 団 車	H28	〃	いすゞ	〃	〃	〃	



## 消 防 機 械 配 備 状 況 (可搬式動力ポンプ)

所 属	配 備 先	種 別	馬 力 (PS)	規格放水量 (リットル)	性 能	台車の 有 無	購 入 年 月 日	
消 防 署	本 署	ト一ハツ	70	1,550	B2	無	H18. 8	
		〃	〃	1,290	〃	〃	H30. 8	
		〃	51	1,420	B3	〃	H11. 9	
		〃	10	500	C1	有	H24. 4	
		〃	15	527	〃	〃	H 9. 11	
		〃	〃	430	〃	〃	S57. 10	
	南 熱 海 出 張 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H 5. 9	
		〃	12	420	〃	無	S55. 11	
消 防 団	第 1 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	無	H 3. 9
		車 載	〃	〃	530	〃	〃	H15. 9
	第 2 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	無	R 2. 11
		車 載	〃	〃	〃	〃	〃	H18. 10
	第 3 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H12. 8
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	H27. 9
	第 4 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	530	C1	有	H29. 11
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	R 5. 3
	第 5 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	530	C1	無	R 2. 9
		車 載	〃	〃	〃	〃	〃	H24. 3
	第 6 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H 5. 10
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	H25. 11
	第 7 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H 元. 12
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	H21. 12
	第 8 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H11. 8
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	H26. 11
	第 9 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H 9. 11
			〃	12	530	〃	無	R 3. 12
		車 載	〃	15	〃	〃	〃	H17. 12
	第 10 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H 7. 8
		車 載	〃	〃	〃	〃	無	H22. 10
	第 11 分 団	詰 所	ト一ハツ	15	527	C1	有	H13. 8
車 載		〃	〃	〃	〃	無	H28. 11	

消防署 8台      分団詰所 13台      分団車載 11台      計 32台

## 消防機械配備状況(発電機)

所属	配備先	型式	定格出力 (VA)	購入年月日	
消防署	本署	1号車	ヤマハEF900is	900	H24. 3
		2号車	ホンダEU9i	900	H28. 2
		6号車	新ダイワEGR-24	2,400	H10. 10
		梯子車	ホンダEB550	550	H10. 12
		救助工作車	ホンダEU26i	2,600	R2. 12
		無線中継局舎	ホンダE2800	2,000	S56. 3
	その他		ホンダEU16i	1,600	H29. 11
			ホンダEB2000X	2,000	H12. 8
			新ダイワEGR-24	2,000	H10. 10
			ホンダEB550	550	H10. 12
		南熱海出張所	ホンダEB550	550	H7. 12
		3号車	ホンダEX6	600	H18. 10
消防団	第1分団	ホンダEU900	900	H15. 9	
	第2分団	ホンダEU9i	900	R2. 11	
	第3分団	ホンダEU9i	900	H27. 9	
	第4分団	ホンダEU9i	900	H29. 11	
	第5分団	ホンダEX6	600	H24. 3	
	第6分団	ホンダEX6	600	H25. 11	
	第7分団	ホンダEX6	600	H21. 12	
	第8分団	ホンダEU9i	900	H26. 11	
	第9分団	ホンダEU9i	900	R3. 12	
	第10分団	ホンダEX6	600	H22. 10	
	第11分団	ホンダEX6	600	H28. 11	

※レスキューライト(緊急照明装置)を本署及び各分団に各1基配備(H10.10)

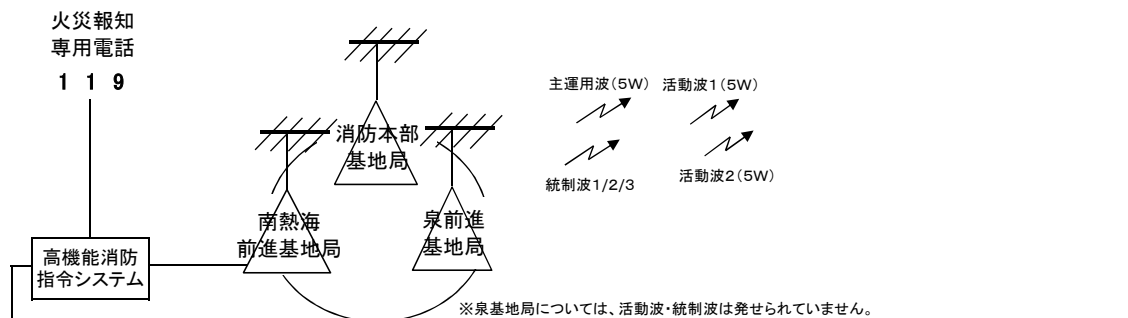
## 救助資機材の現況

分類	品名	数量	分類	品名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	1	呼吸保護用器具	空気呼吸器	5
	三連はしご	1		空気補充用ポンベ	5
	ワイヤはしご	1		防塵マスク	10
	空気式救助マット	1		送排風機	1
	救命索発射銃	1	隊員保護用器具	耐電手袋	5
	ハイパーリング・救助用縛帯	2		安全帯	5
	平担架	4		防塵メガネ	5
	カラビナ	44		携帯警報器	5
	滑車	7		防毒マスク	5
				化学防護服	19
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1		陽圧式化学防護服	2
	油圧スプレッダー	1		個人線量計	13
	可搬ウインチ	1		耐電衣	5
	ワイヤーロープ	6		耐電ズボン	5
	マンホール救助器具	1		耐電長靴	5
	マット型空気ジャッキ	4			
	大型油圧スプレッダー	1	検索用器具	簡易画像探索機	1
	救助用支柱器具	1種	除染用器具	除染シャワー	1
切断用器具	エンジンカッター	1	水難救助用器具	流水救助器具一式	1
	ガス溶断器	1		救命胴衣	5
	チェーンソー	1		救命浮環	4
	鉄線カッター	2	山岳救助用器具	登山器具一式	1
	空気鋸	1		バスケット担架	1
	大型油圧切断機	1	その他の救助用器具	投光器一式	1
	空気切断機	1		携帯投光器	5
	コンクリート鉄筋切断用フェンソー	1		携帯拡声器	1
破壊用器具	万能斧	1	その他の救助用器具	携帯無線機	3
	ハンマー	2		応急処置用セット	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1		発電機	2
	削岩機	1	高度救助用資機材	熱画像直視装置	1
	ハンマドリル	1			

## 消防通信施設の現況

高機能 消防指令 システム	システム監視装置	1式	
	指令装置	2台(補助2台)	
	表示板	通信指令室2面 その他3面	
	指令伝送装置	3回線(指令情報送信装置1台 指令情報出力装置3台)	
	出動車両運用管理装置	管理装置1台 車両運用端末装置(AVM)17台	
	気象情報収集装置	1式(風向・風速・温度・湿度・雨量・気圧)	
	統合型位置情報通知装置	1式(固定電話・IP電話・携帯電話)	
	119受信FAX	1台	
消防救急 デジタル 無線	通信方式コード	DN2N HN2N	
	変調方式コード	P/44PSK	
	周波数	活動波1・活動波2・主運用波・統制波1/2/3(切替方式)	
	呼出名称	あたみしょうぼう, あたみしょうぼうみなみきち あたみしょうぼういずみきち	
	基地局	3基(あたみしょうぼう:出力5W, あたみしょうぼうみなみきち: 出力5W, あたみしょうぼういずみきち:出力2W)	
	移動局	車載	26台(出力5W)
		可搬	5台(出力5W)
		携帯	29台(出力2W)
		署活携帯	47台(出力1W)
	開局年月日	平成27年9月9日	
サイレン	分団詰所	1基(9分団)	

# 消 防 通 信 系 統 図



市ダイヤルイン	数
消防本部	1
消防署	1
一般電話	
南熱海出張所	1
泉分遣所	1
熱海警察署	
熱海ガス	
東京電力	

湯河原町消防本部

保健センター(バックアップシステム)

10W-1. あたみ201(主運用波)  
10W-1. あたみ202(統制波)

区分	車両等名称	呼出名称	車載型 移動局(5W)	携帯型 移動局(2 W)	卓上固定移動局 可搬型(5W)	署活系携帯 移動局(1W)	携帯型 受令機
本 署	消防総務課			2	1	5	
	消防署			2	1	2	
	通信指令室				1		
	1号車	あたみ1	1	1		2	
	2号車	あたみ2	1	1		2	
	6号車	あたみ6	1			1	
	梯子車	あたみ31	1	1		2	
	救助工作車	あたみ41	1	1		2	
	指揮車	あたみ51	1				
	広報1号車	あたみ61	1				
	広報2号車	あたみ62	1				
	防災トラック	あたみ71	1				
	救急1号車	きゆうきゆうあたみ1	1	1		1	
	救急2号車	きゆうきゆうあたみ2	1	1		1	
救急5号車	きゆうきゆうあたみ5	1	1				
南 熱 海	出張所			1	1		
	3号車	あたみ3	1	1		2	
	7号車	あたみ7	1				
	救急3号車	きゆうきゆうあたみ3	1	1		1	
泉	分遣所				1		
	5分団車	あたみぶんだん5	1	1		3	
消 防 団	団長			1		1	
	第1方面隊長			1		1	
	第2方面隊長			1		1	
	第3方面隊長			1		1	
	第4方面隊長			1		1	
	第1分団	あたみぶんだん1	1	1		2	1
	第2分団	あたみぶんだん2	1	1		2	1
	第3分団	あたみぶんだん3	1	1		2	1
	第4分団	あたみぶんだん4	1	1		2	1
	第6分団	あたみぶんだん6	1	1		2	1
	第7分団	あたみぶんだん7	1	1		2	1
第8分団	あたみぶんだん8	1	1		2	1	
第9分団	あたみぶんだん9	1	1		2	1	
第10分団	あたみぶんだん10	1	1		2	1	
第11分団	あたみぶんだん11	1	1		2	1	
計			27	30	5	49	10

# 消 防 水 利 の 現 況

## 1 消 火 栓

区分 地区別	公 設				私 設				合 計
	地上	地下	バルブ	小 計	地上	地下	バルブ	小 計	
泉	41	44	10	95	4	2	1	7	102
伊豆山	32	33	33	98	3	1	0	4	102
熱海	149	350	50	549	5	9	1	15	564
上多賀 自然郷	46	138	3	187	3	1	0	4	191
下多賀 中野	42	54	7	103	3	1	0	4	107
和田木 網代	53	76	6	135	3	0	28	31	166
初島	0	0	14	14	0	0	0	0	14
合 計	363	695	123	1,181	21	14	30	65	1,246

## 2 防 火 水 槽

区分 地区別	公 設						私 設			合 計
	耐震性貯水槽			40t 以上	40t 未満	小 計	40t 以上	40t 未満	小 計	
	100t級	60t級	40t級							
泉	0	0	6	8	0	14	10	0	10	24
伊豆山	1	0	5	6	4	16	10	3	13	29
熱海	4	1	15	41	2	63	25	0	25	88
上多賀 自然郷	1	0	5	0	1	7	1	0	1	8
下多賀 中野	1	0	6	4	2	13	2	0	2	15
和田木 網代	3	0	8	8	3	22	1	0	1	23
初島	0	1	1	1	2	5	2	0	2	7
合 計	10	2	46	68	14	140	51	3	54	194

## 3 指 定・自 然 水 利

区分 地区別	指 定 水 利			自 然 水 利			合 計
	プール・池	水道タンク	小 計	河 川	海 水	小 計	
泉	0	0	0	3	0	3	3
伊豆山	0	2	2	0	1	1	3
熱海	2	1	3	3	2	5	8
上多賀 自然郷	1	2	3	1	1	2	5
下多賀 中野	2	0	2	3	0	3	5
和田木 網代	1	0	1	1	1	2	3
初島	0	0	0	0	2	2	2
合 計	6	5	11	11	7	18	29

# 気 象 情 報

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主な風向		西北西	西北西	西北西	東南東	東南東	西北西	西北西	西北西	東南東	西	西	西北西
平均風速 m/sec		1.5	1.5	1.5	1.6	1.4	2.0	1.6	1.6	1.1	1.5	1.5	1.8
平均気温 °C		6.3	6.5	11.9	15.8	18.9	22.7	27.0	27.5	24.9	18.5	16.0	9.4
平均湿度 %		57.8	55.7	65.4	76.2	76.0	81.7	82.1	82.5	81.7	72.4	71.5	60.4
降水量 mm		31.5	58.5	97.0	276.0	247.5	236.5	197.5	219.0	264.0	93.5	88.5	36.0
警 報	大雨							1	1	1			
	洪水												
	波浪												
	高潮												
	暴風												
	大雪		1										
	津波												
注 意 報	大雨				3	2	1	3	2	3			
	洪水							1	1				
	強風	5	8	8	5	1	4	3	3	2	4	2	4
	波浪			1	2		1		1	1		1	1
	大雪	1	3										
	雷	1	2	5	7	5	8	11	10	5	3	7	2
	濃霧	1	1	2	7		7	2	2			1	
	霜			4	1								
	乾燥	1	2	1									2
	高潮												
	津波												
	低温	7	1										
着雪	1	2											
風雪													
通報	火災気象通報	13	13	5	4	1	4	4	4	2	2		13
情 報	大雨に関する		4	5	13	13	10	46	13	13	5	4	
	強風に関する												
	突風に関する		2	4	4	4	7	22	7	4	8	9	4
	高波に関する												3
	高潮に関する												
	雷に関する		2	4	4	4	7	22	7	4	8	9	4
	低温に関する												
	霜に関する												
	大雪に関する	4	12										
	雪に関する	4		1									
	竜巻に関する	3			2		3	3	4				
	黄砂に関する												
	台風に関する							3	11	19			
	地震に関する		2	4	2	2				1		4	2
	津波に関する	23											
	土砂災害警戒												
高温注意情報													
その他			2				7	1	1	3	3		

備考 1 平均風速 1.4 m/sec  
 2 平均気温 17.1 °C  
 3 平均湿度 72.0 %  
 4 総降水量 1,845.5 mm  
 5 平均降水量(月) 153.8 mm

## 警 防 活 動 状 況

区 分	件 数	消 防 隊	
		車 両	隊 員 数
火 災 出 動	16	50	196
救 急 出 動	3,424	3,424	10,377
救 助 出 動	41	138	459
救 急 支 援 出 動	279	279	1,201
警 戒 出 動	81	88	378
応 援 出 動	0	0	0
調 査	50	54	222
そ の 他 出 動	48	71	269
煙火打ち揚げに伴う特別警戒	18	28	110
年末年始に伴う特別警戒	16	28	72
消 防 水 利 調 査	85	138	406
道 路 偵 察	2	5	14
機 関 点 検	53	8	207
防 ぎ よ 訓 練	89	39	429
揚 水 ・ 放 水 訓 練	91	105	312
操 縦 訓 練	254	303	757
救 助 隊 訓 練	374	310	2,378
救 急 訓 練	201	5	694
梯 子 車 訓 練	1	2	12
消 防 総 合 訓 練 等	7	14	54



# 火 災 統 計

# 火 災 発 生 状 況 (令和4年)

1	火 災 件 数	16件	
(1)	建 物	10件	61,968千円
(2)	林 野	2件	0千円
(3)	車 両	0件	0千円
(4)	船 舶	0件	0千円
(5)	そ の 他	4件	0千円
	計	16件	61,968千円

(過去10年間平均 29,350.4千円)

2 出 火 率 (人口1万人あたりの出火件数) 4.02件

※ 令和3年 全国の平均出火率 4.48件

3 損 害 額 (1件あたりの損害額) 3,873.0千円

4 り災世帯及び人員

(1) 世 帯 4世帯

(2) 人 員 6名

5 死 傷 者

(1) 死 者 0名

(2) 負 傷 者 0名

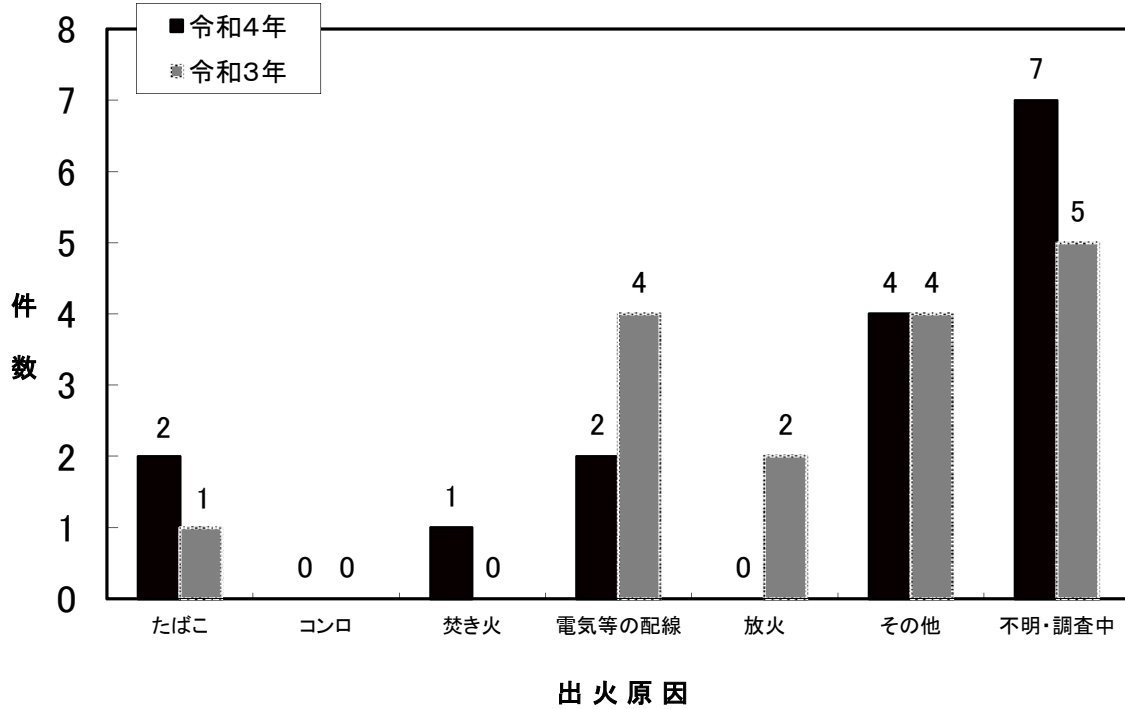
## 令和4年火災発生状況と前年比較

区 分		令和4年	令和3年	増 減	過去10年間平均
火 災 件 数		16	16		15.1
火 災 種 別	建 物	10	8	2	9.3
	林 野	2		△2	0.5
	車 両		3	△3	1.9
	船 舶		1	△1	0.1
	そ の 他	4	4		3.3
損害額（千円）		61,968	19,041	42,927	27,496
焼損面 積	建物（㎡）	69	513	△444	279.8
	林野（a）	89		89	16.9
死傷者	死 者		1	△1	0.8
	負 傷 者		1	△1	2.7
焼 損 棟 数		8	7	△9	10.8
り 災 世 帯		4	13	△9	9.2
り 災 人 員		19	9	10	16.3

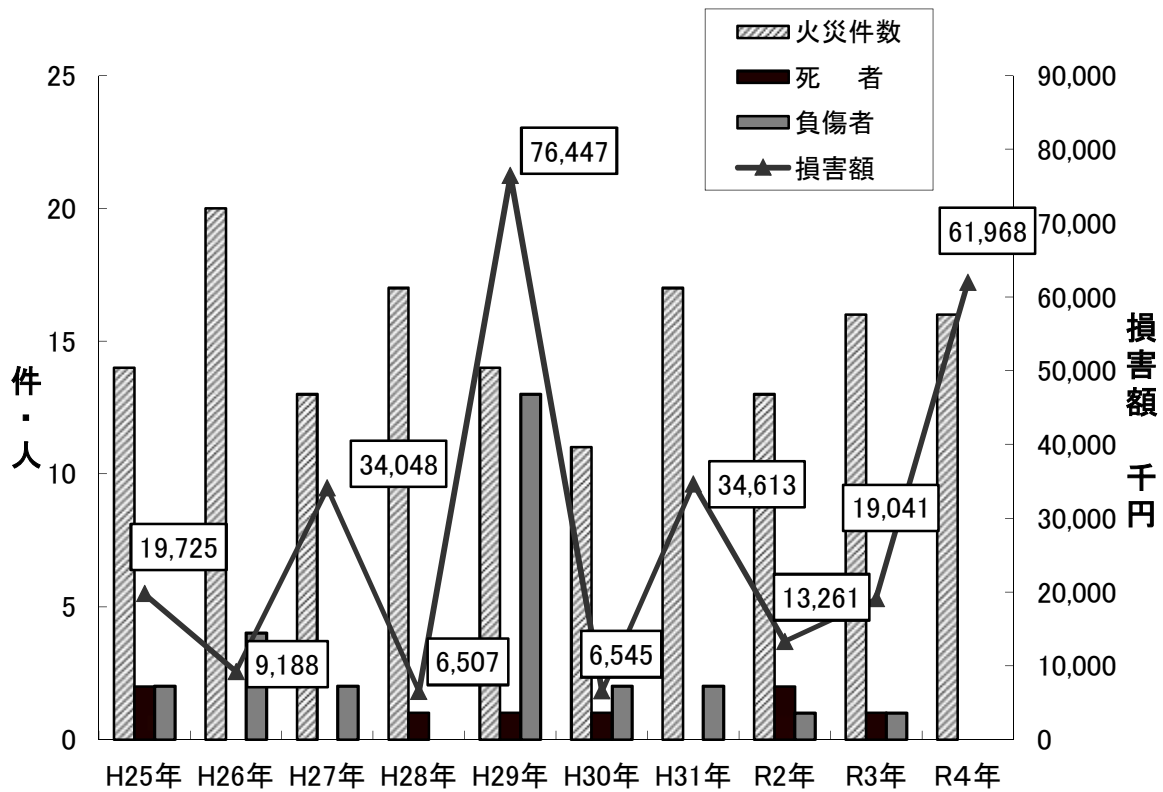
## 地域別・月別火災発生状況

地域別 月 別	泉	伊豆山	熱海 (旧市内)	多賀	網代	初島	計
1	1						1
2		1		1			2
3			2	1			3
4			2				2
5			2				2
6	1	1				1	3
7							
8			1				1
9							
10							
11			1				1
12			1				1
計	2	2	9	2		1	16
過去10年地域別	0.7	6	9.7	3.5	0.4	0.2	15.1

## 原因別火災件数



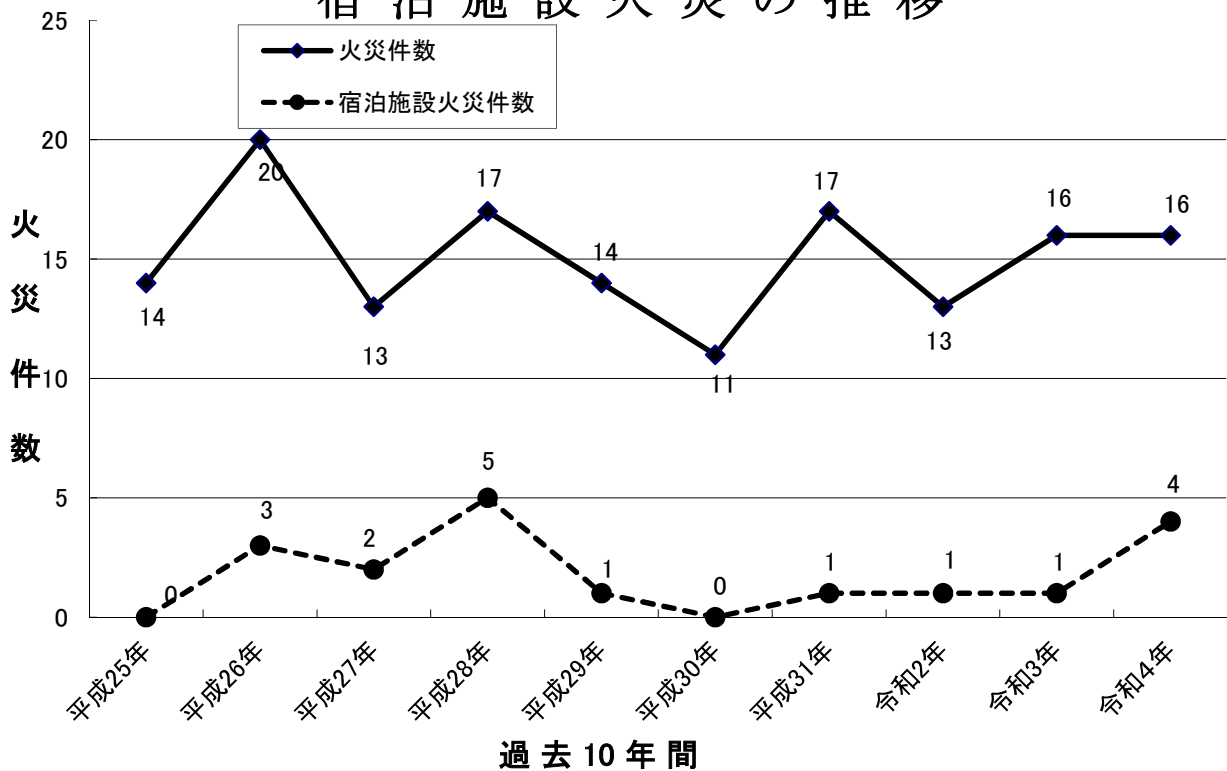
## 過去10年間の火災件数・死傷者・損害額推移



## 過去10年間の火災発生状況

区分 年	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 面 積		死 傷 者		損 害 額 (千 円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建 物 ( $m^2$ )	林 野 ( $a$ )	死 者	負 傷 者	
平成25年	14	10		1		3	416		2	2	19,725
平成26年	20	11	1	3		5	13	40		4	9,188
平成27年	13	9		2		2	208			2	34,048
平成28年	17	10		3		4	85		1		6,507
平成29年	14	9	1	1		3	1,175	23	1	13	76,447
平成30年	11	6		3		2	29		1	2	6,545
平成31年	17	12		2		3	178			2	34,613
令和2年	13	8	1	1		3	196	17	2	1	13,261
令和3年	16	8		3	1	4	513		1	1	19,041
令和4年	16	10	2			4	69	89			61,968

## 宿泊施設火災の推移



# 救急・救助統計

## 救急発生状況(令和4年)

1 出場件数	3,424件
(1) 1日平均	9.38件
(2) 地域別出場件数	
ア 熱海	2,316件
イ 伊豆山及び泉	414件
ウ 南熱海	693件
エ 市外	1件
2 人口1万人当たりの救急出場件数	992.6件
	※令和3年 静岡県：436.7件 全国平均：493.5件
3 搬送人員	3,022人
(1) 性別	
ア 男性	1,500人
イ 女性	1,522人
(2) 居住別	
ア 熱海市内に住んでいる人	2,236人
イ 熱海市外に住んでいる人	786人
(3) 搬送先	
ア 管内医療機関へ搬送	2,755人
イ 管外医療機関へ搬送	267人
4 要請から病院収容までの平均時間	38分32秒
5 傷病者の転院件数	281件

# 救 急 概 要

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		計
												転 院 搬 送	そ の 他	
出場件数		9		3	128	19	8	612	14	18	2,315	281	17	3,424
救急件数				1	109	19	7	572	8	15	2,000	279		3,010
不搬送件数		9		2	21		1	40	6	3	315	2	17	416
搬送人員				1	119	19	7	572	8	15	2,002	279		3,022
性 別	男			1	75	17	6	249	6	9	992	145		1,500
	女				44	2	1	323	2	6	1,010	134		1,522
月 別 出 場 件 数	1				7	2		50	1		162	20	1	243
	2	2			7		1	34	1	4	159	24	1	233
	3	2			7			52	2	2	172	20		257
	4	2			8	2	1	37		1	200	16	1	268
	5	1			9	2	2	50		3	190	20		277
	6	1		1	8	2	1	38	1		166	14	2	234
	7			1	11	1	1	54	1	4	228	37	3	341
	8			1	15	5		55	1		253	34	3	367
	9				7	2	1	48	3	2	180	23		266
	10				13	1	1	68	1	2	174	16		276
	11				16	1		48	1		179	28	2	275
	12	1			20	1		78	2		252	29	4	387
計		9	0	3	128	19	8	612	14	18	2,315	281	17	3,424



## 傷病程度・年齢・覚知別出場状況

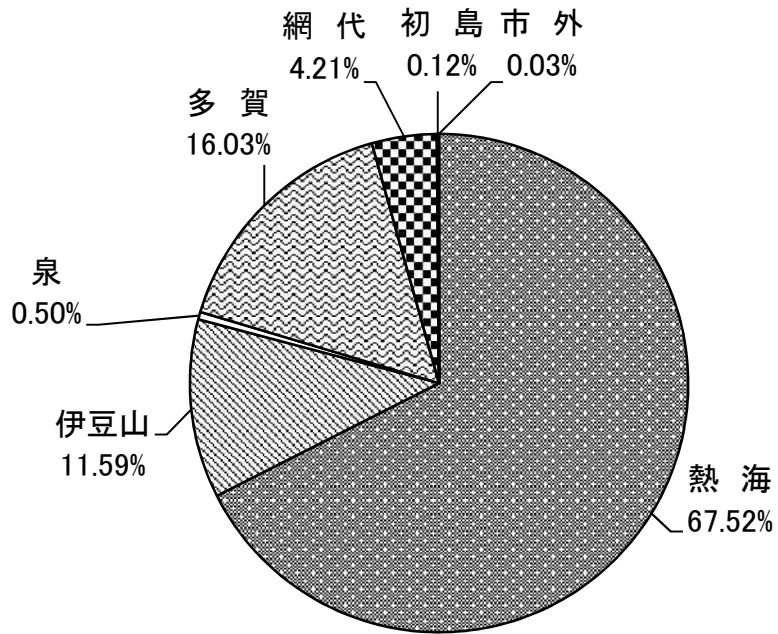
区分		事故種別											計
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
傷病程度別	死亡								1	1	47	1	50
	重症			1	12	1		10		1	151	65	241
	中等症				32	9	3	233	3	8	956	187	1,431
	軽症				75	9	4	329	4	5	848	26	1,300
	その他												0
	計		0	0	1	119	19	7	572	8	15	2,002	279
年齢別	新生児 28日以内												0
	乳幼児 28日～6才				3			20			36	2	61
	少年 7才～17才						2	12			35	3	52
	成人 18才～64才			1	70	17	5	94	6	10	416	52	671
	老人 65才以上				46	2		446	2	5	1,515	222	2,238
	不明												0
計		0	0	1	119	19	7	572	8	15	2,002	279	3,022
覚知別	火災専用	8		3	115	19	8	587	13	18	2,193	81	3,045
	一般加入	1			7			21			101	215	345
	警察直通				4			1	1		7		13
	駆込							2			12		14
	自己覚知											2	2
	その他				2			1			2		5
計	9	0	3	128	19	8	612	14	18	2,315	298	3,424	

## 曜日・時刻別出場状況

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
曜日別	月			1	16	2		95	1	5	342	58	520
	火	1		1	18	3		83	1	2	338	55	502
	水	3			17	3	1	88	4	4	306	41	467
	木	2			20	1		74	3	2	328	34	464
	金	2			22	4	1	75	2	1	294	46	447
	土				17	2	3	99	2	1	356	45	525
	日	1		1	18	4	3	98	1	3	351	19	499
	計	9	0	3	128	19	8	612	14	18	2,315	298	3,424
時刻別	0～2							17	3		100	7	127
	2～4				2			15	1	2	83	6	109
	4～6				2			21	1	1	99	4	128
	6～8	2			14			33	1	3	173	4	230
	8～10	1			13	6		81	1		291	25	418
	10～12	1		1	14	2	2	87	2	1	288	60	458
	12～14	2			23	2	3	96	1		276	51	454
	14～16	2		1	25	4	2	66	1	4	263	54	422
	16～18				12	4		66		2	228	46	358
	18～20				15	1		53	2	3	209	22	305
	20～22	1		1	6			51		1	167	15	242
	22～24				2		1	26	1	1	138	4	173
	計	9	0	3	128	19	8	612	14	18	2,315	298	3,424

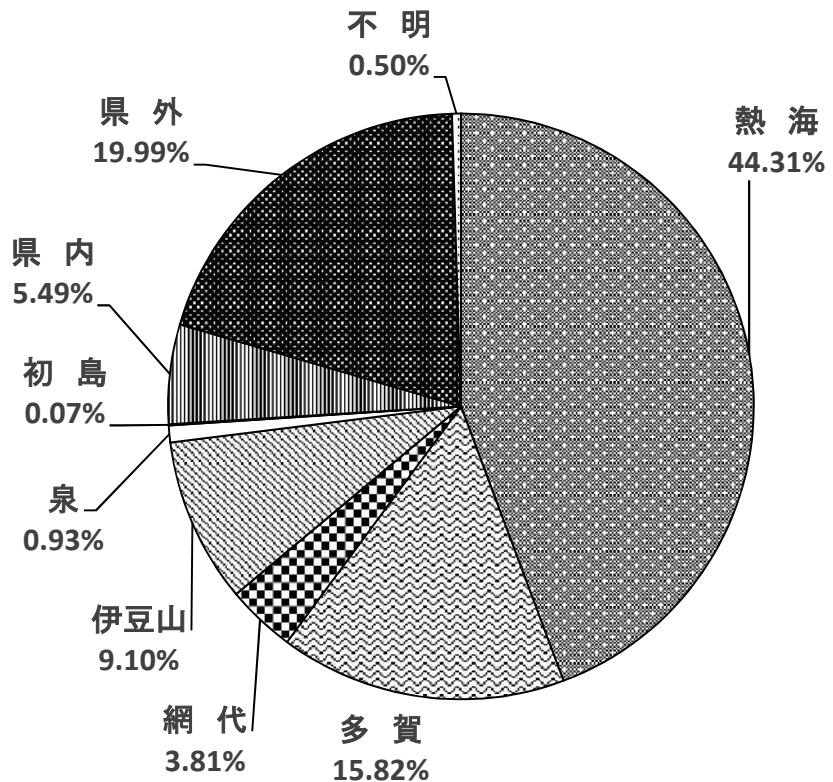
## 地域別出場件数

熱海	2,312 件
伊豆山	397 件
泉	17 件
多賀	549 件
網代	144 件
初島	4 件
市外	1 件
合計	3,424 件



## 住居別搬送人員

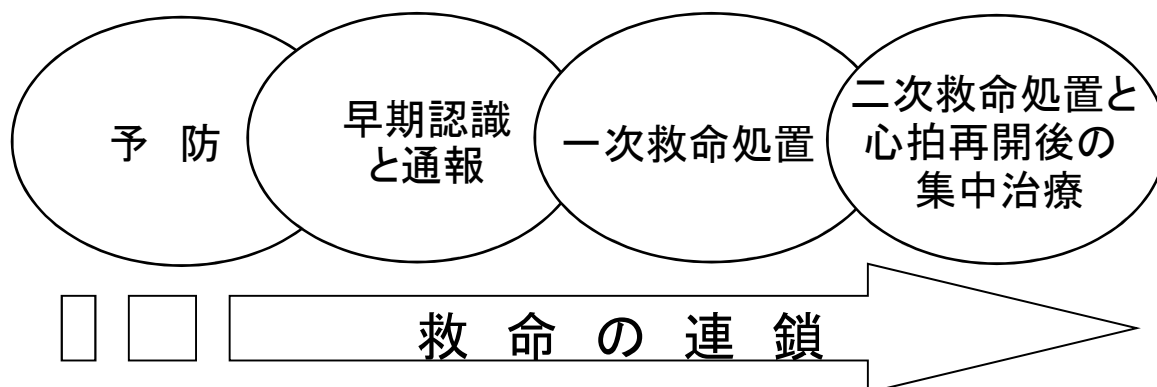
熱海	1,339 人
多賀	478 人
網代	115 人
伊豆山	275 人
泉	28 人
初島	2 人
県内	166 人
県外	604 人
不明	15 人
合計	3,022 人



## 発生場所別搬送状況

搬送人員	事故種別 \ 発生場所	住宅	公衆 出入場所	仕事場	道路	その他	計
	急病	1,304	579	21	85	13	2,002
交通	4	3		109	3	119	
一般	265	206	5	87	9	572	
その他	16	298	6	5	4	329	
計	1,589	1,086	32	286	29	3,022	

### “救命の輪をつなげよう”



大切な命を救うために必要な行動を迅速に途切れることなく行う重要性を表しています。

心停止の予防	重篤な病気の初期症状に気づいて救急車を要請し医療機関へ受診する。
早期認識と通報	突然倒れた人や反応のない人をみたら心停止を疑い119番に通報する。
一次救命処置	心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)などの救命処置。
二次救命処置	救急救命士や医師などが行なう救命処置と集中治療。

## 診 療 科 目 別 搬 送 状 況

事故種別 診療区分		火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ	計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	
診 療 科 目	内 科			1	1	1	2	8		7	1,441	111	1,572
	外 科				26	3	1	69	3	3	49	22	176
	脳 外 科				4	3	2	161	1		190	12	373
	整形外科				76	8	2	326	4	1	103	39	559
	小 児 科							2			53	3	58
	そ の 他				12	4		6		4	166	92	284
	計		0	0	1	119	19	7	572	8	15	2,002	279

## 医 療 機 関 別 搬 送 状 況

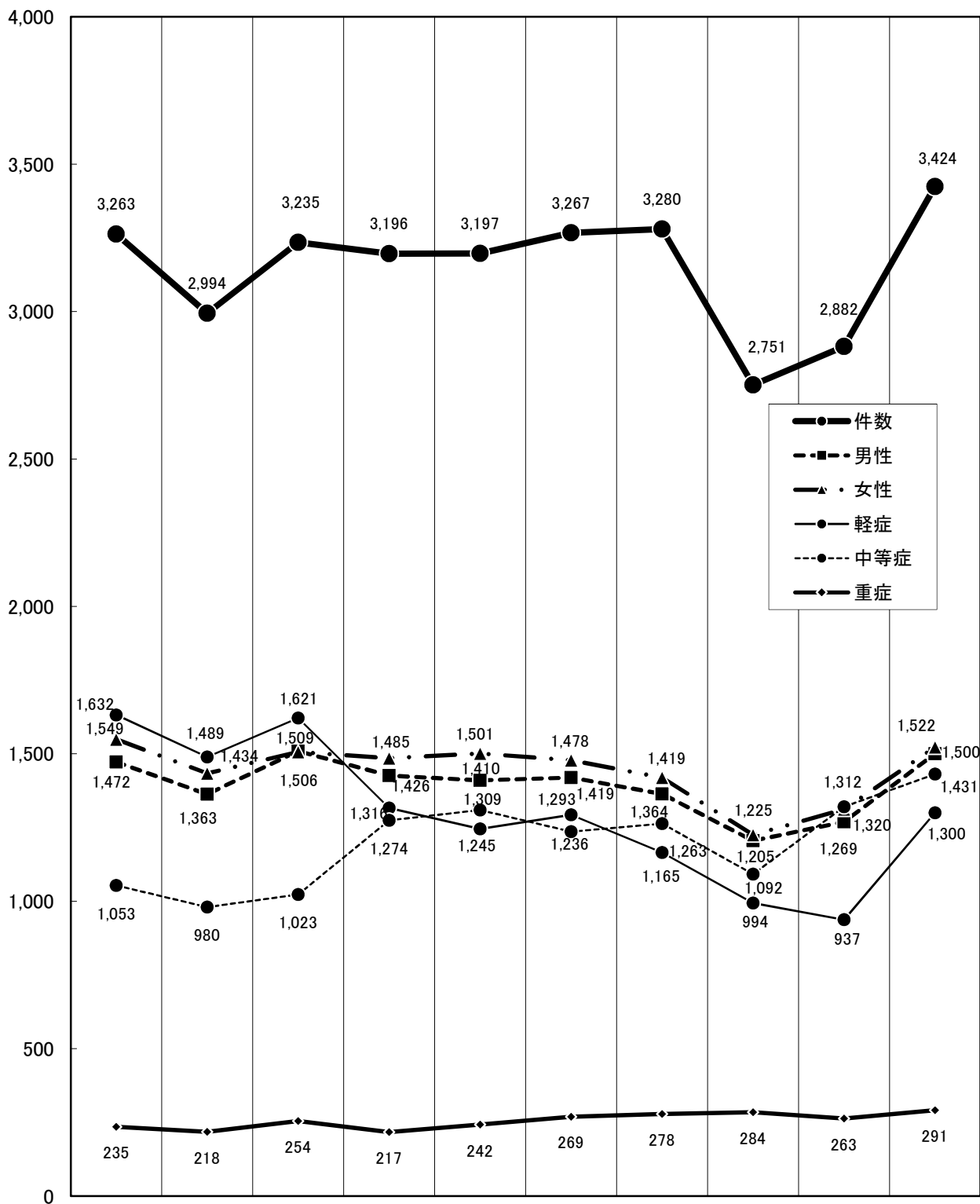
医療機関		事故種別	急 病	交通	一般	そ の 他	計
				事故	負傷		
告 示 外 医 療 機 関	国 ・ 公 立 病 院						0
	公 的 病 院						0
	私 的 病 院		2			10	12
	私 的 診 療 所		4			1	5
	小 計		6	0	0	11	17
告 示 医 療 機 関	国 ・ 公 立 病 院		27		2	45	74
	公 的 病 院		2		1	4	7
	私 的 病 院		1,965	119	569	269	2,922
	私 的 診 療 所						0
	小 計		1,994	119	572	318	3,003
そ の 他 の 場 所			2				2
合 計			2,002	119	572	329	3,022

## 応 急 処 置 状 況

種 別 \ 区 分	急 病	交 通	一 般	そ の 他	計
応急処置対象人員	1,999	118	570	327	3,014
止 血	5	12	74	11	102
固 定	7	21	24	7	59
人工呼吸	27		1	5	33
心マッサージ	24		1	1	26
心肺蘇生	57			1	58
酸素吸入	354	16	14	84	468
気道確保	78		1	2	81
※経鼻エアウェイ	3			0	3
※器具による気道確保	48			1	49
※気管挿管					0
保 温	1,469	73	388	249	2,179
被 覆	11	19	87	12	129
在宅療法継続					0
ショックパンツ					0
除 細 動	6				6
薬 剤 投 与	29			1	30
血 圧 測 定	1,904	116	551	320	2,891
聴診器聴取	1,365	92	287	193	1,937
血中酸素飽和度測定	1,922	118	562	325	2,927
心 電 図	1,354	45	175	181	1,755
静脈路確保	81	1		2	84
※ブドウ糖投与	1				1
※CPA前	25	1		1	27
※CPA後	55			1	56
血糖測定	23				23
その他の処置	1,952	116	568	327	2,963
計	10,668	629	2,733	1,721	15,751

※内数として記載

# 過去10年間の救急状況



件数	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
人口 (人)	38,992	38,422	38,055	37,722	37,523	37,018	36,559	36,003	35,172	34,493
救急車数 (台)	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
告示 病院数	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2

## 令和4年度 救命講習実施状況

区分	対象	消 防 職 員	消 防 団 員	事 業 所	自 町 主 防 災 組 織 会	（公 学 校 的 を 含 む ） 機 関	団 体 グ ル ー プ	定 例 講 習	合 計
上級救命講習	回数								
	人員								
普通救命講習	回数			3			1	4	8
	人員			40			14	54	108
一般救命講習	回数					1			1
	人員					11			11
応急手当 指導員講習	回数								
	人員								
合計	回数			3		1	1	4	9
	人員			40		11	14	54	119



## 救助出場状況(過去10年間)

区分	年別										
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	令和4年	合計
出場件数	19	21	30	39	33	33	45	41	39	41	341
活動件数	8	16	16	18	16	23	28	29	25	29	208

## 救助出場概要(令和4年)

区分		事故種別	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
			災	通	難	然	械	物	ス	裂	の	計
			災	通	難	害	による事故	等による事故	及び酸欠	事故	他	
出場件数			0	11	2	0	0	22	0	0	6	41
活動件数			0	10	2	0	0	15	0	0	2	29
救助人員			0	10	2	0	0	15	0	0	2	29
出場車両	ポンプ車		0	12	2	0	0	21	0	0	8	43
	救助工作車		0	11	2	0	0	21	0	0	6	40
	救急車		0	21	3	0	0	23	0	0	7	54
	その他		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	合計		0	44	7	0	0	66	0	0	21	138
出場人員	消防隊員		0	61	12	0	0	101	0	0	38	212
	救助隊員		0	29	5	0	0	56	0	0	16	106
	救急隊員		0	51	6	0	0	66	0	0	18	141
	合計		0	141	23	0	0	223	0	0	72	459
発生場所	屋内	住居	0	0	0	0	0	21	0	0	1	22
		その他の屋内	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	屋外	高速自動車国道等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の道路	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
		内水面	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		外水面	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		山岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		その他の屋外	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		0	11	2	0	0	22	0	0	6	41

## PA連携活動状況

「PA連携」とは

救急隊だけでは業務遂行が困難な場合や、救命のために一刻を争う事態において、救急隊の出動と同時に消防隊も出動し、救急活動を支援するものです。

消防車(ポンプ車のP)と救急車(アンビュランスのA)が連携して活動するため、このような救急活動を「PA連携」と呼んでいます。

### 事故種別・月別出動状況

事故種別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
急病	10	11	15	8	17	5	11	21	14	21	16	37	186
一般負傷	4	0	1	0	1	1	0	1	0	4	2	5	19
交通事故	1	3	3	3	3	6	6	6	1	8	5	10	55
その他	0	0	1	0	3	2	3	2	2	2	1	3	19
合計	15	14	20	11	24	14	20	30	17	35	24	55	279

### 救急支援内容・月別出動状況

支援内容 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
心肺停止	5	4	3	3	3	0	1	4	5	9	5	7	49
心肺停止疑い	3	2	5	3	8	4	4	6	5	5	8	14	67
搬送困難	5	2	7	2	8	3	5	9	3	6	4	16	70
交通事故	1	3	3	3	3	6	6	6	1	8	5	9	54
その他	1	3	2	0	2	1	4	5	3	7	2	9	39
合計	15	14	20	11	24	14	20	30	17	35	24	55	279

### 過去10年間のPA連携活動状況

年別 区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出場件数	250	251	317	294	269	281	289	214	204	279

## ドクターヘリ 出場状況

「ドクターヘリ」とは

ドクターヘリは、救命率の向上や後遺障害の軽減を図ることを目的に、厚生労働省が定めた実施要綱に基づき、静岡県が実施する事業で、病院常駐型ヘリコプターを活用し、救急現場から治療を開始するとともに救急搬送時間を短縮するためのものをいいます。

### 事故種別・月別出動状況

種別	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
急病	0	2	3	2	2	3	2	5	2	2	1	5	29
一般負傷	1	1		1		1		1					5
交通事故	1	1		1			1	3	1	2		2	12
労働災害						1	1						2
転院搬送	3		3	1	1		3	1	2	2	3	4	23
その他													0
合計	5	4	6	5	3	5	7	10	5	6	4	11	71

### 病院搬送状況

搬送先	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
順天堂大学医学部附属 静岡病院	2	3	3	1	1	5	4	6	3	4	2	4	38
岡村記念病院											1	1	2
沼津市立病院							1	1					2
富士市立中央病院								1					1
静岡医療センター	2		1	1	1		1		2		1	1	10
市立伊東市民病院								1					1
熱海所記念病院			1									1	2
東海大学 医学部付属病院	1		1				1			1			4
静岡県立こども病院								1					1
国際医療福祉大学 熱海病院				2	1							2	5
※キャンセル		1		1						1		2	5
合計	5	4	6	5	3	5	7	10	5	6	4	11	71

### 過去10年間のドクターヘリ出場状況

区分	年別									
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出場件数	43	48	59	61	61	41	49	51	55	71

予

防

## 建 築 同 意 状 況 (1)

月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
件数	51	3	2	5	4	3	4	3	4	8	3	6	6

## 建 築 同 意 状 況 (2)

区 分 対 象 物		同 意 件 数				延べ面積 (㎡)		
		新	増	その他	計	新・増	その他	計
1	イ	劇 場 等						
	ロ	集 会 場 等						
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊 戯 場 等						
	ハ	性風俗関連特殊営業						
3	イ	待 合 等						
	ロ	飲 食 店	3			3	530.22	530.22
4		デパート等	1			1	232.33	232.33
5	イ	旅館・ホテル等	17			17	83,926.81	83,926.81
	ロ	共同住宅等						
6	イ	病 院 等	1			1	201.09	201.09
	ロ	老人ホーム等	1			1	496.44	496.44
	ハ	デイサービス等	1			1	110.7	110.7
7	イ	幼 稚 園 等						
	ロ	学 校 等						
8		図 書 館 等						
9	イ	蒸気・熱気浴場等						
	ロ	公 衆 浴 場						
10		停 車 場 等						
11	イ	神 社 ・ 寺 院 等						
	ロ	工 場 等	2			2	301.91	301.91
12	イ	映 画 ス タ ジ オ 等						
	ロ	駐 車 場	3			3	92.7	92.7
13	イ	格 納 庫						
	ロ	倉 庫	5			5	1,876.48	1,876.48
14		その他事業所	6	1		7	934.83	934.83
15	イ	特 定 複 合	1			1	386.04	386.04
	ロ	そ の 他 複 合						
16		文 化 財						
17		50mアーケード						
18		一 般 住 宅	9			9	1,405.06	1,405.06
		計	50	1		51	90,494.61	90,494.61

## 消防用設備等検査実施状況

種別 件数 防火対象物	屋内 消火栓		スプリン クラー		水噴霧等 消火設備		自動火災 報知設備		火災通報 装置		非常放送 設備		非常警報 設備	
	届出	検査	届出	検査	届出	検査	届出	検査	届出	検査	届出	検査	届出	検査
	7	6	7	6	2	0	94	68	11	11	8	7	5	5
1項口 (公会堂、集会場等)														
2項口 (遊技場等)														
3項口 (飲食店)							2	2					3	3
4項 (百貨店等)							1	1			1	1		
5項イ (旅館・ホテル等)	4	3	5	5	1		53	40	8	8	5	4	1	1
5項ロ (共同住宅等)	2	2	1		1		11	7	1	1				
6項イ (病院等)														
6項ロハ (老人ホーム等)			1	1			3	3	1	1				
6項ニ (幼稚園等)														
7項 (学校等)														
8項 (美術館)														
9項ロ (公衆浴場)														
10項 (車両・船舶の発着場等)														
11項 (寺院・神社・教会)														
13項イ (駐車場)														
14項 (倉庫)														
15項 (その他の事業所)	1	1					2							
16項イ (特定複合用途)							21	14	1	1	2	2	1	1
16項ロ (非特定複合用途)							1	1						
18項 (アーケード)														

## 火災予防条例に基づく諸届出状況

防火対象物使用開始届	ボイラー等設備届	発電設備設置届	変電設備設置届	蓄電設備設置届	火災類似行為届	煙火打揚げ・仕掛届	露店等の開設届	水道断減水届	道路工事届	少量危険物貯蔵届	液化ガス貯蔵取扱届
303	20	8	3	6	22	1	51	5	96	5	8

## 危険物関係事務処理状況

月別 区分	月別												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
屋内貯蔵所許可														
地下タンク貯蔵所許可					1	1	1							3
屋内タンク貯蔵所許可												1		1
移動タンク貯蔵所許可														
給油取扱所許可		1	2	1						3				7
一般取扱所許可											2	1		3
完成検査			3		1					2	1	3		10
仮取扱(承認)												2		2
仮使用(承認)		1	2	1						3	2	3		12
計		2	7	2	2	1	1			8	5	10		38

(注) 許可又は完成検査には設置、変更を含む。

## 危険物製造所等分布状況

区分 件数	製造所	貯蔵所								取扱所				合計	事業所
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	販売一取扱種所	一般取扱所	計		
熱海			5	18	45		5	1	74	8		18	26	99	68
伊豆山				6	10				16	2		2	4	20	18
泉				3	9				12	1			1	13	11
多賀			2	4	8				14	4			4	19	15
網代			1	1	1				3	3			3	6	5
初島		1	2		1			1	5	2		2	4	9	4
計	0	1	10	32	74		5	2	124	20	0	22	42	166	123

## 危険物製造所等立入検査状況

区分 件数	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	給油取扱所	第販売一取扱種所	一般取扱所	
施設数		1	10	32	74		5	2	20		22	166
検査数			4	1	7		3		8		7	30
検査人員			8		14		6		16		14	58

## 予防一般事務処理状況

区分 計	月別	計	月別											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
消防訓練指導	件数	14	1			5	2			1		4	1	
	人員	660	90			58	30			17		90	375	
防火講話	件数	0												
	人員	0												
防火映画会	件数	0												
	人員	0												
各種講習会	件数	0												
	人員	0												
防火管理者選解任届	選任	160	13	12	19	16	9	21	17	9	18	12	6	8
	解任	105	5	6	14	12	6	17	13	6	11	4	4	7
消防計画届		172	15	15	19	18	10	25	17	9	18	11	6	9
法令適合通知(旅館業)		43	3	3	3	3	1	4	9	6	2	2	6	1
〃 (公衆浴場)														
〃 (国観連)														

(注) 消防計画については、変更届も含む。



# 防火対象物(事業所別)分布状況

防火対象物		地域別	計	熱海	伊豆山	泉	南熱海	初島
計			2,337 (741)	1,526 (509)	151 (58)	105 (46)	503 (121)	52 (7)
1	イ 劇場・映画館等		0 0					
	ロ 公会堂・集会場等		20 (16)	11 (8)	1 (1)	1 (1)	7 (6)	
2	イ キャバレー・カフェの類		0 0					
	ロ 遊技場・ダンスホール		2 (2)	2 (2)				
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗		1 0	1				
3	イ 待合・料理店		0 0					
	ロ 飲食店		267 (41)	190 (24)	5	12 (1)	43 (16)	17
4	百貨店又はマーケット		20 (13)	15 (8)			5 (5)	
5	イ 旅館・ホテル等		363 (154)	175 (105)	30 (16)	17 (10)	125 (22)	16 (1)
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		669 (169)	435 (105)	58 (21)	34 (17)	137 (24)	5 (2)
6	イ 病院・診療所等		22 (4)	14 (3)			8 (1)	
	ロ 特別養護老人ホーム等		15 (15)	6 (6)	2 (2)	5 (5)	2 (2)	
	ハ 老人福祉施設等		17 (11)	10 (8)		3 (1)	4 (2)	
	ニ 幼稚園等		2 (2)			1 (1)	1 (1)	
7	学校等		14 (12)	7 (6)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1
8	美術館等		7 (2)	3 (1)	1		2 (1)	1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1 (1)	1 (1)				
	ロ 公衆浴場等		0 0					
10	停車場等		6 (1)	3 (1)			3	
11	神社又は寺院等		29 (1)	17 (1)	1	3	8	
12	イ 工場又は作業所		75 0	30	5	5	35	
13	イ 車庫又は駐車場		15 0	14			1	
14	倉庫		34 0	19	2	2	10	1
15	その他の事業場		162 (29)	101 (21)	12 (1)	5	39 (7)	5
16	イ 特定複合用途対象物		448 (249)	353 (193)	26 (16)	10 (8)	53 (28)	6 (4)
	ロ その他の複合用途対象物		143 (15)	114 (12)	7	6 (1)	16 (2)	
17	重要文化財等		1 0	1				
18	延長50m以上のアーケード*		4 (4)	4 (4)				

- (注) 1. 法第17条第1項の規定により消防用設備等の設置を課せた対象物。  
 2. 第1種防火対象物、法第8条第1項の規定により防火管理者の選任を課せた対象物。  
 3. ( )内は第1種防火対象物を示す。

# 中高層建築物一覽表

防火対象物		階別																		
		計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
計		752	331	195	79	23	20	26	33	8	9	5	12	1	4	1	1	4		
消防法施行令別表第一に定める防火対象物	1	イ 劇場・映画館等	0																	
		ロ 公会堂・集会場等	0																	
	2	イ キャバレー・カフェーの類	0																	
		ロ 遊技場・ダンスホール	0																	
		ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗	0																	
	3	イ 待合・料理店	0																	
		ロ 飲食店	17	14	3															
	4	百貨店又はマーケット	1	1																
	5	イ 旅館・ホテル等	102	34	22	14	7	6	6	8	2	1	1					1		
		ロ 寄宿舍・共同住宅等	277	100	56	27	10	11	17	21	6	8	2	11	1	4	1	2		
	6	イ 病院・診療所等	8	4	1	2		1												
		ロ 特別養護老人ホーム等	6	3	1	2														
		ハ 老人福祉施設等	3	2	1															
		ニ 幼稚園等	0																	
	7	学校等	5	4			1													
	8	美術館等	1	1																
	9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1		1															
ロ 公衆浴場等		0																		
10	停車場等	0																		
11	神社又は寺院等	1			1															
12	イ 工場又は作業所	5	4		1															
13	イ 車庫又は駐車場	0																		
14	倉庫	0																		
15	その他の事業場	24	10	11	3															
16	イ 特定複合用途対象物	230	106	81	26	4	2	3	3			2	1				2			
	ロ その他の複合用途対象物	71	48	18	3	1			1											
17	重要文化財等	0																		

# 中高層建築物地域別分布状況

地域別		階別																		
		計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
計		752	331	195	79	23	20	26	33	8	9	5	12	1	4	1	1	4		
熱	海	610	269	165	67	19	14	16	24	6	4	5	10	1	4	1	1	4		
伊	豆山	49	18	7	5	3	4	1	6	1	4									
	泉	30	10	8	4	1	1	5				1								
南	熱海	62	34	15	2		1	4	3	1	1	1								
初	島	1			1															

# 消 防 団

## 消防団主要行事及び出動状況

### <令和4年度>

4月 1日	熱海消防集合式
4月 9、16日	網代海上花火大会警戒、熱海海上花火大会警戒
5月2、14、21日	熱海海上花火大会警戒
6月 2日	災害出動（初島救急支援）
6月27日	災害出動（初島その他火災）
7月 3日	伊豆山土石流災害に伴う行方不明者一斉捜索
7月10日	熱海海上花火大会警戒
7月23、29日	泉地区花火大会警戒、熱海海上花火大会警戒
7月31日	災害出動（初島救急支援）
8月 5、8日	熱海海上花火大会警戒
8月 9日	災害出動（初島救急支援）
8月12日	上多賀海上花火大会警戒
8月14日	災害出動（初島救急支援）
8月16、18日	上多賀、網代、熱海海上花火大会警戒
8月20日	災害出動（初島救急支援）
8月21日	熱海海上花火大会警戒
8月23日	災害出動（初島救急支援）
8月26日	熱海海上花火大会警戒
8月28日	災害出動（初島救急支援）
9月 8日	災害出動（初島救急支援）
9月19日	熱海海上花火大会警戒
9月27日	災害出動（初島救急支援）
10月 4日	静岡県消防防災航空隊合同訓練（初島地内）
10月12日	災害出動（初島救急支援）
10月15日	熱海海上花火大会警戒
10月23日	東豆支会合同訓練（上多賀地区）
11月 2日	災害出動（初島救急支援）
11月 5日	熱海海上花火大会警戒
11月 6日	秋季合同演習（渚町地内）消防ひろば
11月20日	熱海海上花火大会警戒
11月21日	災害出動（初島救急支援）
12月 3日	災害出動（初島救急支援）
12月 4日	熱海海上花火大会警戒
12月15日	市民安全大会（渚町地内）
12月18日、24日	熱海海上花火大会警戒
12月29～31日	年末特別警戒
1月 7日	令和5年熱海消防出初式（熱海親水公園レインボーデッキ）
1月13日	災害出動（初島救急支援）
2月26日	春季合同演習（下多賀地内）
3月 5日	熱海市津波避難訓練
3月20日	災害出動（初島救急支援）
3月20日	熱海海上花火大会警戒
3月26日	第4分団新車配備式

# 消 防 団 員 数

令和5年4月1日現在

区 分	団 本 部			分 団					
	団 長	副団長	本部部長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
定 数	1	4	20	12	12	12	79	310	450
実 数	1	4	24	12	12	12	74	227	366

# 消 防 団 員 の 配 置 状 況

所 属	職 階	団 長	副団長	本 部 部 長	分団長	副 分 長	部 長	班 長	団 員	計
		消 防 団 本 部		1	4	24				
第 1 方 面 隊	第 1 分 団				1	1	1	7	19	29
	第 2 分 団				1	1	1	7	8	18
	第 3 分 団				1	1	1	7	20	30
第 2 方 面 隊	第 4 分 団				1	1	1	7	23	33
	第 5 分 団				1	1	1	7	25	35
第 3 方 面 隊	第 6 分 団				1	1	1	7	18	28
	第 7 分 団				1	1	1	7	15	25
	第 8 分 団				1	1	1	5	20	28
第 4 方 面 隊	第 9 分 団				1	1	1	5	16	24
	第 10 分 団				1	1	1	7	30	40
	第 11 分 団				1	1	1	7	28	38
女 性 消 防 部					1	1	1	1	5	9
計		1	4	24	12	12	12	74	227	366

# 比 較

区 分	人 口 (人)	世 帯	面 積 (k m <sup>2</sup> )
消 防 団 員 1 人 当 たり	93.71	57.17	0.16
消 防 団 1 分 団 当 たり	3,118.27	1,902.45	5.6

# 分 団 管 轄 区 域

区 分	一 分 団	二 分 団	三 分 団	四 分 団	五 分 団	六 分 団	七 分 団	八 分 団	九 分 団	十 分 団	十 一 分 団
所 在 地	咲見町	福道町	昭和町	伊豆山	泉	上多賀	下多賀	和田木	初 島	網 代	網 代
管 轄 地 域	熱 東 海 地 区 部	熱 北 海 地 区 部	熱 西 海 地 区 部	伊 全 豆 山 区	泉 全 区	上 全 多 賀 区	下 中 多 賀 野	和 小 田 木 山	初 島 全 区	網 南 代 地 区 部	網 北 代 地 区 部

## 消 防 団 員 職 業 別 調

職業別	農 業 林 業	漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 売 小 売 飲 食 業	不 動 産 業	運 輸 通 信 業	金 融 保 險 業	サ ー ビ ス 業	電 気 ガ ス 水 道	公 務 員	そ の 他	計
団員数	3	8	75	19	67	0	14	3	91	25	37	24	366
割合 (%)	0.8%	2.2%	20.5%	5.2%	18.3%	0.0%	3.8%	0.8%	24.9%	6.8%	10.1%	6.6%	100

## 消 防 団 員 年 齢 別 調

階 級	団 長	副 団 長	本 分 部 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
20才未 満							1	1
20才 ～24才							12	12
25才～ 29才							24	24
30才 ～34才							52	52
35才 ～39才						12	28	40
40才 ～44才			2	2	3	29	21	57
45才 ～49才			5	8	6	16	26	61
50才以 上	1	4	29	2	3	17	63	119
計	1	4	36	12	12	74	227	366

## 消 防 団 員 在 職 年 数 別 調

在職年 数	5 年 未 満	5 1 0 年 年 以 未 上 満	1 1 0 5 年 年 以 未 上 満	1 2 5 0 年 年 以 未 上 満	2 2 0 5 年 年 以 未 上 満	2 3 5 0 年 年 以 未 上 満	3 0 年 以 上	計
団 員	36	66	67	49	39	48	61	366

# 令和5年度全国統一防火標語

火を消して

不安を消して

つなぐ未来

消 防 年 報 第 7 2 号

発 行 令和5年6月

編 集 熱海市消防本部消防総務課

〒413-0015

熱海市中央町1番1号

TEL 0557-81-2988